

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和2年 9月 30日

秋田県知事 殿

提出者

住 所 秋田県湯沢市北荒町2-14

氏 名 株式会社 山脇組

代表取締役社長 山脇 幹

電話番号 0183-73-3201

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他の処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 山脇組
事業場の所在地	秋田県湯沢市北荒町2-14
計画期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	D建設業 06総合工事業
② 事業の規模	1,035百万円
③ 従業員数	31人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	・がれき類→破碎→再生骨材・再生路盤材 ・木くず→焼却・破碎→埋立・再生 ・廃プラスチック類→切断→再生 ・金属くず→切断→再生

（日本工業規格 A列4番）



(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

各現場ごとに分別を徹底し、収集・運搬を行う。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（平成31年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	別紙のとおり	
	(これまでに実施した取組) 工法の検討をし、排出量を抑えるよう努める。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	別紙のとおり	
	(今後実施する予定の取組) 工法の検討をし、排出量を抑えるよう努める。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) コンクリートがら、アスコンがら、木くず、廃プラスチック、ガラス・陶磁器くず、繊維くず、金属くず、廃石膏ボード、紙くず、その他がれき類、混合、水銀使用製品 種類ごとに分別する。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) コンクリートがら、アスコンがら、木くず、廃プラスチック、ガラス・陶磁器くず、繊維くず、金属くず、廃石膏ボード、紙くず、その他がれき類、混合、水銀使用製品 種類ごとに分別する。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	— t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	— t	t
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	— t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（平成31年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	1379.472 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	1075.6 t	t
	再生利用業者への処理委託量	254.532 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	t
	(これまでに実施した取組)		
	・優良認定処理業者を活用する。 ・リサイクル可能な産業廃棄物は再生利用業者に委託する。		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全 処 理 委 託 量	995.11 t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	720 t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	217.01 t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	— t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	— t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 優良認定処理業者を活用する。 ・ リサイクル可能な産業廃棄物は再生利用業者に処理を委託する。		
※事務処理欄			

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

(別紙 第2面)

前年度(平成31年度)実績

①現状

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	木くず	廃プラスチック類	ガラス・陶磁器くず
排出量(t)	1010.92	155.8	161.69	3.85	5.22

産業廃棄物の種類	繊維くず	金属くず	廃石膏ボード	その他がれき類	紙くず
排出量(t)	2.9	1.59	8.42	7.03	0.92

産業廃棄物の種類	水銀使用製品	混合(管理型)	混合(安定型)
排出量(t)	0.022	20.73	0.38

②計画

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	木くず	廃プラスチック類	ガラス・陶磁器くず
排出量(t)	700	100	150	3	5

産業廃棄物の種類	繊維くず	金属くず	廃石膏ボード	その他がれき類	紙くず
排出量(t)	2	1	7	6	1

産業廃棄物の種類	水銀使用製品	混合(管理型)	混合(安定型)
排出量(t)	0.01	20	0.1

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

(別紙 第4面)

前年度(平成31年度)実績

①現状

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	木くず	廃プラスチック類	ガラス・陶磁器くず
全処理委託量	1010.92	155.8	161.69	3.85	5.22
優良認定処理業者への処理委託量	930.8	144.8	—	—	—
再生利用業者への処理委託量	80.12	11	160.7	1.1	—
認定熱回収業者への処理委託量	—	—	—	—	—
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	—	—	—	—	—

産業廃棄物の種類	繊維くず	金属くず	廃石膏ボード	その他がれき類	紙くず
全処理委託量	2.9	1.59	8.42	7.03	0.92
優良認定処理業者への処理委託量	—	—	—	—	—
再生利用業者への処理委託量	—	1.59	—	—	—
認定熱回収業者への処理委託量	—	—	—	—	—
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	—	—	—	—	—

産業廃棄物の種類	水銀使用製品	混合(管理型)	混合(安定型)
全処理委託量	0.022	20.35	0.18
優良認定処理業者への処理委託量	—	—	—
再生利用業者への処理委託量	0.022	—	—
認定熱回収業者への処理委託量	—	—	—
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	—	—	—

②計画

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	木くず	廃プラスチック類	ガラス・陶磁器くず
全処理委託量	700	100	150	3	5
優良認定処理業者への処理委託量	630	90	—	—	—
再生利用業者への処理委託量	70	10	135	2	—
認定熱回収業者への処理委託量	—	—	—	—	—
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	—	—	—	—	—

産業廃棄物の種類	繊維くず	金属くず	廃石膏ボード	その他がれき類	紙くず
全処理委託量	2	1	7	6	1
優良認定処理業者への処理委託量	—	—	—	—	—
再生利用業者への処理委託量	—	—	—	—	—
認定熱回収業者への処理委託量	—	—	—	—	—
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	—	—	—	—	—

産業廃棄物の種類	水銀使用製品	混合(管理型)	混合(安定型)
全処理委託量	0.01	20	0.1
優良認定処理業者への処理委託量	—	—	—
再生利用業者への処理委託量	0.01	—	—
認定熱回収業者への処理委託量	—	—	—
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	—	—	—